



114
A 798
22

極秘

第一種

陸軍砲兵大尉時澤右一第六七報告

明治三十一年十月四日馬尼刺發

陸軍砲兵大尉時澤右一第六七報告

一 地理條約商議ノ結果ニ就テハ未タ何等ノ報
道達セス從テ情況上之レカト為メノ變化無

二 昨日米ノ汽船一隻(スカンヂナビヤ號)香港
ニ向ヘリ此船ハ同地ニ於テ石炭ヲ積ミ輸送

ノ為メ「ホル」ニ向フ筈「ホル」ヨリ同船ガ輸
送ス可キ兵數ハ千五百ナリ同船ノ馬尼刺着

ハ早クモ十一月二十日ナル可シ

三 「キング」少將ノ率ナル「アイラワ」「ラレゴン」等ノ軍
艦未タ来ラズ

265

5-23



四、米兵ハ帰心矢ノ如シ士官等ハ留マルコトヲ望
 ムモノ、如シ俸給ノ點乎
 將校ノ妻君後ヲ追フテ来ル者漸ク滋シ兵
 卒ノ帰心ニ由テ注クモノト云フ可シ
 五、反徒ハ益々武器ノ輸入ニ熱心ナリ馬尼刺
 於テ米人ニ不便ヲ與フルノ處置多シ
 令ハ肉類ノ輸入ヲ陰ニ妨害シ若クハ同
 盟罷工ヲ煽動スルカ如シ
 六、米人ノ制定セシ新海關稅ハ本月一日ヨリ
 施行スル筈ナリカ外國高人ノ反對アリ
 シ為メ實施施期限ヲ十一月六日迄延期セ
 リ
 七、只今マラカニヤニ於テ一ノ騷動アリ即チマ

カベレ党三十人革命党ノ為メ捕ヘラレ内五人
 ハ戰死セリマラカニヤニハ我領事館ノ西南
 約一吉羅米マカベレ党トハ以前マラカニヤ
 佐(土人)ノ率平シモノニシテ西班牙派ナリ
 (了)

五
十
一
十
日
刊